

八百津町告示第 82 号の 2

パブリックコメントの回答について

住民の方から寄せられた意見の概要とそれに対する町の考え方及び最終案は下記のとおりです。

平成 28 年 10 月 21 日

八百津町長 金子 政 則

- (1) 募集案件                    第 5 次八百津町総合計画にかかる意見の募集について
- (2) 募集期間                   平成 28 年 9 月 26 日～平成 28 年 10 月 16 日
- (3) 意見提出数                1 件

意見の概要	意見に対する考え方
<p>総合戦略は内閣府が作成促進し、県、各自治体に様式を示して作成し、当町の場合には危機感が乏しい印象である。目標及び数値目標があいまい表現であるからかもしれない。総合計画 10 年、実施計画 3 年ないしは 4 年であり、本総合計画の立ち位置が不明瞭である。</p> <p>仮に交付金獲得目的であれば、その対応（県、内閣府が納得し、給付しやすいもの）が必要である。一方、本当に行政施策として活用するのであれば、あまりに拙く、民間企業経営の経験者から見ると理解不能の計画書である。なぜか？計画は達成するものである。必要事項であり、未達であれば理由の合理的説明とその課題解決が責任者に課せられるが責任者と 5W1H が見当たらない。機能展開が不十分と感じる。したがって総合計画と実施計画が不明確である。</p> <p>政府、県が指導するからマニュアル通りに作成したように見える。</p>	<p>次期計画策定に対する貴重なご感想、ご意見をいただき誠にありがとうございます。</p> <p>今後の計画推進のために参考とさせていただきます。</p> <p>総合計画は、町の最上位計画であり、総合戦略等の個別計画はその下位計画としての位置づけとなっています。</p> <p>また、総合計画は全行政分野を対象とした今後の方向性を示しており、総合戦略等の個別計画は総合計画に基づいた分野別の重点施策を掲げています。</p> <p>なお、次期総合計画を基本方針とした実施計画については今後、別途作成し、毎年のローリング、予算編成作業の中で収入見通しとつきあわせながら実現に向けて取り組んでまいります。</p>

意見の概要	意見に対する考え方
<p>4次計画のPDCAのCAおよびそれに基づく変更点の説明がない。4次計画は実施しなかったことと同然と思われても仕方がない。内閣府は住民、自治体を馬鹿にしているのか？KPIやPDCAとコメントしているが、SWOT分析同様にそれは道具（評価ツール）でしかない。最近の自治体行政改革に伴い評価方法は1990年前後から民間が導入し、自治体も2000年くらいから導入した自治体TQMやBSCを用いてまずは当町行政から変化してはどうか？財政破綻への危機感の強い各自治体が独自に実行計画を策定して改革、改善に取り組み始めている。八百津町の未来は楽観できるかどうか？</p> <p>計画書としては各ステークホルダーに説明するために、だらだらとした文章が多くなっているが、総合計画を踏まえて実施計画書を作成すべきでその場合には基本的に各章A4用紙1枚でEXCELベースがよい。</p>	<p>いただいたご意見の内容につきましては、第4次総合計画において、目標指標を掲載しておりませんので、次期総合計画では第4次総合計画との比較結果の掲載はしておりません。</p> <p>また、ご意見の内容を参考しながら、次期総合計画を踏まえた実施計画等を別途作成し、評価、改善に取り組んでまいります。</p>
<p>目標の文言で「推進」「目指す」「検討」の表現はあり得ない。表現は「実施する」「達成する」である。</p>	<p>いただいたご意見の内容につきましては、基本構想P20第1章3項「将来像実現のための基本目標」における文言であります。本計画は4年、8年先を見据えた長期計画であることから、序論P14第3章3項「町を取り巻く社会・経済動向」にもあります通り、計画期間中における様々な社会潮流等の時代の変化への柔軟な対応や、さらには、序論P15第3章4項「八百津町の課題」に対して臨機応変に取り組んでいくべく、「推進」「目指す」「検討」の文言で表記させていただいております。しかし、実施計画においては、ご意見を参考にしながら策定してまいります。</p>

意見の概要	意見に対する考え方
<p>数値目標は人口減傾向であり、すべてが増加する目標でなく、現状維持があれば人口比では増加である。また教員の研修会参加数などは目標数値ではあり得ない。参加すべき課題であり、替えたい。</p>	<p>いただいたご意見の内容につきましては、基本計画 P58 第 4 章 2 項の指標「教職員の研修参加人数」にあるところですが、現在、教職員の取り巻く環境におけるさまざまな理由により現状の数値となっております。したがって、課題としてではなく、教育環境全体の向上として捉える場合には、教職員の研修人数が増加することが学校教育の充実において目標となるべき重要な指標であると考えておりますので、現状のままとさせていただきます。</p>
<p>例として第 3 章 4 項の課題の表現は不適切である。たとえば課題「ブランド・PR」となっているが、課題はその力不足ではないか？本当の課題はもっと突っ込んでなぜ？なぜ？なぜ？の議論を期待する。</p>	<p>いただいたご意見の内容につきましては、第 1 部序論 P15 第 3 章 4 項「八百津町の課題」(2) ブランド発信・PR にある課題の表記についてですが、本来は「ブランド発信力・PR 力の不足」となりますが、その他の課題についても全て「不足」している項目を取り上げたものであるため、同文言を省略することで内容の明確化を図っているところです。</p> <p>また、その具体的な課題内容については、基本計画以降で掲載しております。</p>
<p>人口減少、消滅可能都市は財政破綻の危機にもある。この危機感を当町の問題として明確に共有した方がよい。試算では日本の総人口は戦後直後から 70 年でピーク、50 年でその時と同じ人口になりますが、当町は 100 年前の大正年間人口に 40 年余りで達してしまうことです。町民に知らしめ、行政も改革することが必要である。ともに改革、改善に取り組む姿勢を示すことが総合計画であるとする。コンパクトタウン構想も必要です。計画書では財政危機が予想されることで町民の関心をつかみたい。</p>	<p>いただいたご意見の内容につきましては、第 1 部序論 P16 第 3 章 4 項「八百津町の課題」(6) 厳しい財政状況において課題として表記しており、さらに基本計画 P83 第 4 章 7 項「協働による行政の推進」における現状と課題においても行財政改革大綱の策定及び毎年進捗状況の確認を実施していることを表記することで、改革、改善への取り組み姿勢を示しているところです。</p>

意見の概要	意見に対する考え方
<p>計画期間を4年の中期計画にしたことは評価する。町長任期期間が妥当と考える。しかし実施計画は1年とし半年でCAを実施する。</p> <p>偶然、ネットで以前に当町の部長クラスの計画に対する工程表を見たが「検討」期間が長すぎてPDCAが回せない。実施計画がなく、総合計画でPDCAを回そうとしても不可能である。推測であるが町行政はその方策が理解できていないのではないかと危惧する。ほかの自治体を参考にしてほしい。</p> <p>住民参加を促進するために実施計画の見える化が必要である。議会審議も完結簡略化できる。ステークホルダーにも理解促進でき、行政もやりやすくなる。そのための仕掛け、目安、手法がTQMやBSCを取り入れることで解決できる。採用には必ず発生するステークホルダーの理解、勉強不足による現状維持バイアスは固い決意で打破したい。PDCAのP実施計画書、実施工程表、CA評価表を最低でも課単位で開示する。(何代も20年も首長が在籍した当町が変化でき、町長が新しくなってよかった。次もお願いしたいとなる。)</p> <p>町民参加ということであれば、観光のお手伝いも重要ですが、行政改革のヒントを町会などで議論していくことも面白いと考える。</p>	<p>いただいたご意見の内容につきましては、次期総合計画を基本方針とする実施計画の策定や今後の推進において参考とさせていただきます。</p> <p>なお、本年度、総合戦略にかかる事業について外部評価を実施し、その結果をホームページで公開しています。</p> <p>また、今後展開する事務事業等についても評価と検証を実施し、その結果を公開してまいります。</p>

(4) 最終案

別添